

音声コードの作成をお請けいたします

印刷物に掲載された文字情報を約 2cm 四方の二次元コードに変換したもので、身体障害者福祉法によって給付対象になっている専用の読み取り装置で読み取れるコードです。スマートフォン等で、記録された情報を音声で得ることができます。この音声コードには漢字を含め最長 1000 文字を格納でき、これまで文書からの情報入手が困難であった視覚障がい者の方をはじめ、高齢者など、誰にでもやさしい情報を提供することが可能となります。当店では、音声コードの作成をお請けいたします。

音声コードは2種類あります

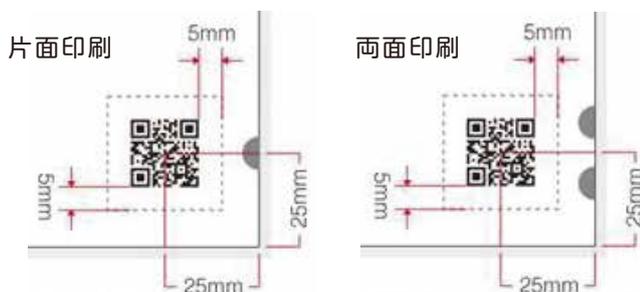
Uni-Voice コードを専用の読み取り装置で読み取ることができますが、SP コードを Uni-Voice で読み取ることができません。そのため、読み取りデバイスが広範に及び Uni-Voice を推奨しています。

★ Uni-Voice (携帯電話やスマートフォンも対応した音声コード)

★ SP コード (専用の読み取り装置のみ対応の音声コード)

※ Uni-Voice は専用の読み取り装置でも読み取れる仕様となっておりますが、専用の読み取り装置は既に耐用年数をオーバーしている等、機械に起因する理由により読み取りの不具合が発生しているケースもありますのでご注意ください。

印刷位置のルール



切り欠き加工のルール

- ①穴あけ加工で半円の切り欠きを加工
- ②片面の場合、右下切り欠き1カ所
- ③両面複数頁の場合、切り欠き上下2カ所

※但し、音声コードの内容に両面右下左下に音声コードがあることを記載する場合は、切り欠きは1カ所がかまいません。

切り欠き加工とは？

Uni-Voice コードを印刷物に入れただけでは、視覚障がい者の方には分かりません。そこで、手探りだけで見つかるよう用紙の右下に「切り欠き」を入れています。

※ 音声コードの周囲に最低 5mm の余白が必要。コード中心の位置が印刷物の端から 25mm となるよう配置。

Uni-Voice アプリ

下記のアプリでは、Uni-Voice に対応している音声コードを読み取ることができます。スマートフォン等にアプリをインストールすれば読み上げが可能です。

聴眼者用アプリ「Uni-Voice」

アプリを起動し、音声コードから 5cm ほど離れてかざすと読み上げが始まります。一度読み込んだ音声コードの情報は保存でき、いつでも再生できます。



Uni-Voice

視覚障がい者用アプリ「Uni-Voice Blind」

視覚障がい者用アプリ「Uni-Voice Blind」は iOS 版のみとなっております。視覚障がい者の方が使いやすいよう、音によってコードから近いのか遠いのか判断できるようになっています。また、Voice Over にも対応しています。



Uni-VoiceBL

音声コード作成時の留意事項

印刷物の内容と音声コードの内容を全く同じにする必要はありません。視覚障がい者の方にとって分かりやすい読み上げ方法で作成します。

- ・表やグラフなどの情報がある場合、編集方針によって原稿データに必要な情報が変わります。
- ・Microsoft Word にて、箇条書きの文頭に自動で作成される段落番号や行頭文字は、認識されません。
- ・印刷用データがあると文字データが編集しやすくなります。
- ・視覚障がい者の方は、ページの表面の右下にコードがあると認識しています。裏面は切り欠きのすぐそばにコードをつけます。コードや切り欠きを左右上下につけてしまうと視覚障がい者の方は冊子の上下、表裏が分からなくなってしまいます。そのため、やむを得ずコードが 1 ページに 2 つになってしまった場合は説明の音声をつけ、切り欠きは冊子の下側にのみつけます。
- ・当店では、制作工程において必ず実機を使って音声の確認を行っています。

